

2018 年 IEEE 東京支部 総会資料

2018 年 3 月 29 日

IEEE 東京支部

<https://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2018年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2018年3月29日（木） 14時30分～15時00分

場 所： 機械振興会館 6階 66
東京都港区芝公園 3-5-8

議 題：

第1号議案：2017年活動報告【以下、報告事項】

第2号議案：2017年決算報告

第3号議案：2018年活動計画

第4号議案：2018年予算

講 演 会

日 時： 2018年3月29日（木） 15時10分～16時10分

場 所： 同 上

講演者： 平川 恵悟 氏（University of Dayton 准教授）

演 題： 「Camera-Aware Multi-Resolution Analysis for
Raw Image Sensor Data Compression」

新Fellow表彰式

日 時： 2018年3月29日（木） 16時20分～17時00分

場 所： 同 上

懇 親 会

日 時： 2018年3月29日（木） 17時00分～19時00分

場 所： 機械振興会館 5階 倶楽部

2017-2018 年IEEE東京支部役員・理事・委員会

1. 役員

Chair	支部長	笹瀬 巖	(慶應義塾大学)
Vice Chair	副支部長	佐藤 良明	(NTT)
Secretary	セクレタリ	杉江 利彦	(NTT エレクトロニクス)
Treasurer	トレジャラ	眞田 幸俊	(慶應義塾大学)

2. 理事会メンバー

* 笹瀬 巖 (慶應義塾大学)	* 植野 彰規 (東京電機大学)
* 佐藤 良明 (NTT)	* 奥田 治雄 (湘南工科大学)
* 杉江 利彦 (NTT エレクトロニクス)	三木 哲也 (電気通信大学)
* 眞田 幸俊 (慶應義塾大学)	鈴木 麻由美 (日立製作所)
* 高村 誠之 (NTT)	萩本 和男 (NTT エレクトロニクス)
* 浅田 雅洋 (東京工業大学)	原崎 秀信 (日本電気)
* 八井 崇 (東京大学)	藤代 博記 (東京理科大学)
* 二見 史生 (玉川大学)	野田 夏子 (芝浦工業大学)
* 加屋野 博幸 (東芝)	滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)
* 岡田 顕 (NTT)	

(注: *印は、理事会の Voting Member)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	高村 誠之 (NTT)	奥村 治彦 (東芝)	坂東 幸浩 (NTT)
Fellow Nominations	浅田 雅洋 (東京工業大学)	東盛 裕一 (ツルギフォトニクス財団)	鈴木 左文 (東京工業大学)
Membership Development	八井 崇 (東京大学)	中村 浩史 (古河電気工業)	井 通暁 (東京大学)
Nominations	二見 史生 (玉川大学)	種村 拓夫 (東京大学)	加藤 研太郎 (玉川大学)
Technical Program	加屋野 博幸 (東芝)	川西 哲也 (早稲田大学)	桧垣 誠 (東芝)
Publications	岡田 顕 (NTT)	杉江 利彦 (NTT エレクトロニクス)	田島 卓郎 (NTT)
Student Activities ☆	植野 彰規 (東京電機大学)	稲森 真美子 (東海大学)	中村 聡 (東京理科大学)
History	奥田 治雄 (湘南工科大学)	宮崎 孝 (日本電気)	山田 崇史 (NTT)

☆Student Activities Student Representative 傳田 渉 (明治大学)

IEEE 東京支部 2017 年 活動報告

Organizational Activities

- 2017 年 IEEE 東京支部総会 参加者:31 名
3 月 29 日(水)14 時 30 分～15 時 00 分
2016 年活動報告、2016 年会計報告、2017 年活動計画、2017 年予算の説明等の議事を行った。
- 理事会
第 1 回理事会: 2017 年 3 月 29 日(水) 12:00～13:55 参加者:18 名
第 2 回理事会: 2017 年 6 月 16 日(金) 15:00～17:20 参加者:13 名
第 3 回理事会: 2017 年 9 月 29 日(金) 15:00～17:10 参加者:15 名
第 4 回理事会: 2017 年 12 月 22 日(金) 15:00～17:00 参加者:19 名

Professional and Continuing Education Activities

- 講演会
 - 1) 3 月 2 日(木) 13 時 45 分～15 時 20 分 参加者:約 80 名 ※東京支部主催
「地図型自動車用ナビゲーションシステム」IEEE Milestone 記念講演会
演題 1: 「IEEE Milestones in Electrical Engineering and Computing の概要」
講師 1: 白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair)
演題 2: 「世界初のカーナビ Honda Electro Gyrocomp の開発」
講師 2: 高橋 常夫 氏 (株式会社エヌエフ回路設計ブロック 代表取締役社長)
演題 3: 「Honda のコネクティッドカー技術開発」
講師 3: 京光 達哉 氏 (株式会社本田技術研究所 第 8 技術開発室 室長)
 - 2) 3 月 6 日(月) 14 時 00 分～17 時 00 分 参加者:約 190 名 ※東京支部主催
「温度無依存水晶振動子」IEEE Milestone 記念講演会
演題 1: 「IEEE Milestones in Electrical Engineering and Computing の概要」
講師 1: 白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair)
演題 2: 「古賀逸策先生の水晶振動子とマイルストーン」
講師 2: 伊賀 健一 氏 (東京工業大学 名誉教授・前学長)
演題 3: 「水晶から光通信まで一東工大における通信の研究」
講師 3: 末松 安晴 氏 (東京工業大学 名誉教授・元学長)
演題 4: 「AI・IoT・ビッグデータ, 豊かな人間社会に向けて」
講師 4: 遠藤 信博 氏 (日本電気株式会社 代表取締役会長)
演題 5: 「我が国の科学技術イノベーション戦略」
講師 5: 久間 和生 氏
(内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員/ 三菱電機株式会社 元副社長)
 - 3) 3 月 29 日(水) 15 時 10 分～16 時 10 分 参加者:52 名 ※東京支部主催
演題: 「次世代電子デバイスに向けた材料科学への期待」
講師: 鳥海 明 教授 (東京大学、2016 IEEE Cleo Brunetti Award 受賞)
 - 4) 6 月 14 日(水) 14 時 00 分～15 時 00 分 参加者:98 名 ※東京支部主催
「野辺山 45m 電波望遠鏡」IEEE マイルストーン記念講演会

(総会 第1号議案)

- 演題 1: 「IEEE Milestone の概要」
講師 1: 白川 功 先生 (IEEE Japan Council History Committee Chair)
演題 2: 「三菱電機における野辺山 45m電波望遠鏡の開発」
講師 2: 榊原 修 氏 (元三菱電気株式会社通信機製作所 所長)
演題 3: 「ミリ波天文学を開拓した 45m 望遠鏡」
講師 3: 海部 宣男 氏 (元国立天文台 台長、前国際天文学連合会長)
- 5) 7月13日(木) 15時00分～17時30分 参加者 37名 ※LMAG主催/東京支部共催
「富士通研究所 見学会・講演会」
演題: 「富士通研究所の人工知能研究の取り組み」
講師: 株式会社富士通研究所 人工知能研究所 シニアディレクター 湯上 伸弘 氏
- 6) 8月9日(水) 15時00分～17時00分 参加者 23名 ※東京支部主催
「Historical Activities in IEEE: IEEE Milestones, Women's Role in Electrical History, and Some Topics.」
講師 1: Michael Geselowitz 氏 (IEEE History Center Senior Director)
講師 2: Allison Marsh 氏 (2017 IEEE History Committee Chair)
- 7) 10月6日(金) 14時00分～15時20分 参加者 13名 (+11名の現地関係者)
※LMAG主催/東京支部共催
「依佐美送信所の高周波発電機調査とIEEEマイルストーン認定」
演題: 「依佐美送信所の高周波発電機調査とIEEEマイルストーン認定」
講師: 荒井 英輔 氏 (名古屋工業大学 名誉教授)

Students Activities

- | | |
|--------------------|--|
| 1) 3月3日 | Japan SYWL Workshop |
| 2) 3月4日 | IEEE Student Branch Leadership Training Workshop |
| 3) 4月1日～7日 | 2017 Paper Contest(東京工業大学 SB) |
| 4) 4月12日 | レポートの書き方講座(電気通信大学 SB) |
| 5) 4月15日 | 研究交流セミナー(東京農工大学 SB) |
| 6) 4月26日 | 表計算ソフトウェアワークショップ(東京農工大学 SB) |
| 7) 5月10日,17日,24日 | TeXワークショップ(東京農工大学 SB) |
| 8) 5月26日 | LaTeX講座(電気通信大学 SB) |
| 9) 7月7日～8日 | 第2回 IEEE ハックチャレンジ in Tokyo(慶應義塾大学 SB) |
| 10) 10月～11月(全4回) | C言語ワークショップ(東京農工大学 SB) |
| 11) 10月7日 | Workshop(青山学院大学 SB) |
| 12) 10月14日,21日,28日 | Hackathon(青山学院大学 SB) |
| 13) 10月28日 | 東京農工大学 農工大・青学合同勉強会 |
| 14) 11月4日 | the 14th IEEE TOWERS 内 LMAG 交流会(東京理科大学 SB) |
| 15) 11月4日 | the 14th IEEE TOWERS(東京理科大学 SB) |
| 16) 11月8日 | LaTeX講座(電気通信大学 SB) |
| 17) 12月2日 | IEEE TOWERS ソウル支部との合同論文コンテスト開催を支援 |

Affinity Group Activities

● Young Professionals

- 1) 1月20日 青山学院大学 Student Branch 設立に向けた説明会

(総会 第1号議案)

- | | |
|-------------|--|
| 2) 1月29日 | 2017年度キックオフミーティング |
| 3) 3月3日 | 旧東京支部設立60周年記念イベント |
| 4) 3月4日 | IEEE Region 10 Annual General Meeting |
| 5) 7月7日～8日 | 第2回 IEEE ハックチャレンジ in Tokyo |
| 6) 9月5日 | The 6th IEEE Tokyo YP STEP Event |
| 7) 10月7日～8日 | IEEE Metro Area Workshop in Nagoya |
| 8) 11月4日 | IEEE TOWERS 後援 |
| 9) 12月2日 | 第14回 IEEE 学生/
若手技術者のためのキャリアアップワークショップ |
| 10) 12月2日 | 第9回 キャリアアップに関するエッセイコンテスト 受賞式 |

● Life Members

- | | |
|----------|--|
| 1) 3月29日 | LMAG 総会 |
| 2) 4月10日 | LMAG Newsletter No.19 発行/HP 掲載 |
| 3) 5月19日 | LMAG イブニングサロン(第1回)開催 |
| 4) 7月13日 | 富士通研究所 見学会・講演会 |
| 5) 8月15日 | LMAG Newsletter No.20 発行/HP 掲載 |
| 6) 10月6日 | 依佐美送信所見学会・講演会 |
| 7) 10月7日 | 名古屋支部 LMAG 発足式を支援 |
| 8) 10月8日 | SYWL (EEE Metro Area Workshop in Nagoya) |

Awards & Recognition Activities

● Milestone 贈呈式

3月2日(木)

本田技研工業株式会社 Honda 青山ビルにて、「地図型自動車用ナビゲーションシステム」の IEEE Milestone 記念式典が開催され、Karen Bartleson IEEE 会長より、八郷 隆弘 本田技研工業社長へ、銘板が贈呈された。

3月6日(月)

東京工業大学百年記念館にて、「温度無依存水晶振動子」の IEEE Milestone 記念式典が開催され、Karen Bartleson IEEE 会長より、三島 良直 東京工業大学学長へ、銘板が贈呈された。

6月14日(水)

如水会館(東京)にて「野辺山 45m 電波望遠鏡」の IEEE Milestone 記念式典が開催され、James A. Jefferies IEEE 次期会長より、林 正彦 国立天文台台長、柵山 正樹 三菱電機株式会社社長、に銘板が贈呈された。

● 新 Fellow 表彰式

3月29日(水) 16時20分～17時00分

新 Fellow は7名(5名が表彰式に参加)

- “R10 Outstanding Achievement in Member Recruitment 2017” を東京支部が受賞

- “2017 R10 Young Professional Affinity Group” Award を東京支部 YP が受賞

- “2017 R10 Young Professional Outstanding Volunteer in Academic” Award を東京支部 YP の西宮康治朗氏が受賞

Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- Tokyo Bulletin を 5 回発行/HP に掲載した。(1/6, 4/17, 5/12, 9/27,11/30)
- R10 Newsletter を 8 件投稿。

Other Organizational Activities

- Chapter Operation: 東京支部単独、及び筆頭となっている Joint Chapter の Sponsorship として、現在まで TCS 8 件、FCS1 件を審議。
- Member Development(MD): 新規会員の加入、グレードアップについて、バーナ、サイトを整備。メールによる会員継続を依頼。
- Fellow Nomination (FN) : 支部会員、Chapter Chair 等の方に Fellow へのノミネーション依頼メールを送付。
- History (HC) : 新規 Milestone を 1 件 (HEMT) 提案。さらに、獲得に向け候補案件の準備を開始。
- ”IEEE Japan Sections’ 60th Anniversary Celebration,
-Organized by IEEE Japan Council in the series of IEEE Region 10 Fifty Year Celebrations-”
千葉工大 新習志野キャンパス(3 月 3 日(金))
- Japan Council イベント“未来を生み出すワークショップ ~ Next Generation of IEEE~”:
同上 東京支部より YP・LMAG・SB が参加(3 月 3 日(金))
- Region 10 Meeting 2017: 東京支部より Primary Delegate 笹瀬 Chair の他、Secondary Delegates 6 名、合計7名が参加。(3 月 4 日(土)、5 日(日))

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	-	265	416	5,259	727	294
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817
2016	7,835	-57	-0.72	2	343	532	5,982	210	766
2017	7,798	-37	-0.47	2	338	555	5,886	197	820

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	-	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	-	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2015	14,326	95	0.67	4	521	915	10,594	401	1,891
2016	14,266	-60	-0.42	3	519	935	10,631	369	1,809
2017	14,214	-52	-0.36	3	509	974	10,494	361	1,873

略号： HM: Honorary Member
M: Member

F: Fellow
A: Associate

SM: Senior Member
St: Graduate Student, Student

IEEE 東京支部 2017年度 会計報告 (活動ベース)

2018/2/28

単位 : JPY

予算 : US\$1 = ¥102-

【収入の部】	2017年予算	2017年決算	予算比	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	93,000	-	LMAG加/見学会/講演会等の懇親会徴収分
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,106,104	3,224,383	104%	\$30,016,60- (\$1=¥107.42)
YP Rebate	22,440	23,632	105%	\$220- (\$1=¥107.42)
LMAG Rebate	22,440	31,689	141%	\$295- (\$1=¥107.42)
SB Rebate	0	46,351	-	\$ 410- (CB仮換算レートにて計上)
Chapter Rebate	998,070	1,091,921	109%	\$ 9.865- (\$1=¥107.42)
320 Region Receipts LMAG FUND	102,000	112,530	110%	\$1,000-(CB仮換算レートにて計上)
YP FUND	51,000	139,859	274%	受領済\$950 (円転未含む)+2017未収 (約\$ 300-) 含む
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	1,414,628	1,524,633	108%	SA総額の10%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	172,800	216,000	125%	修正監査の為費用追加分も請求
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,146,278	15,246,321	108%	前期\$133,648.73- (\$1=¥110.98-) 後期\$ 3,671- (\$1=¥112.76)
340 雑収入 (CB口座)	5,000	9,071	181%	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	77	3%	
収入合計	20,043,760	21,759,467	-	

【支出の部】	2017年予算	2017年決算	予算比	備考
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	50,000	19,259	39%	
その他会費	50,000	60,855	122%	マイルスト関連費用・MD打合せ費用等
総会運営費用	550,000	507,993	92%	
講演会開催費用	200,000	152,204	76%	うち、¥12,000は懇親会費徴収済
480 Student Activities SB支援費	700,000	484,370	69%	2017未払い¥76,139-含む
SB Rebate支払	0	46,351	-	本部より3大学へ送金分
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	150,000	231,421	154%	懇親会費等徴収済分およびRebate Fund込み (支部支出 約¥6,000)
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	278,440	247,302	89%	Rebate Fund込み 2017未払い¥56401-含む (支部支出 約¥80,000-)
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	14,146,278	15,243,321	108%	
Chapter Rebate 支払い	998,070	1,091,921	109%	
事務局費1 計	2,264,000	2,353,559	104%	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃賃料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担) 追加6万円 (稼働費20%)
事務局費2 計	115,000	136,221	118%	(注釈1) JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	342,800	309,763	90%	
予備費	978,942	312,615	32%	SC/ANZSCON参加支援2名 ¥266,915- MAW参加支援のうち2名分 ¥45,700-
支出合計	20,823,530	21,197,155	102%	

収入-支出	-779,770	562,312	-72%	
前年度からの繰越金	6,701,683	6,701,683	100%	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	5,921,913	7,263,995	123%	(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1 : 事務局費1~2については予算月割りの暫定額にて報告)

前年度からの繰越金については2016年会計報告時の¥6,523,182-にYP口座分¥178,501-を組み込んだ金額

12月末日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)	9,851,458
内訳 普通預金	9,266,341
小口現金	20,000
東京YP口座	228,619
CB口座	336,498 (\$2,987.11-×112.65 (12末))

2017年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

本部報告 (YP口座・本部引当金を含む)、監査基準

科 目	2017年12月31日	2016年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	9,266,341	9,171,969
○普通預金 (YP)	228,619	178,501
○CB預金	336,498	113,085
◇現金・預金合計	9,851,458	9,483,555
◇その他流動資産	※1 34,857	-
流動資産合計 :	9,886,315	9,483,555
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	10,031,915	9,629,155
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	※2 2,622,320	2,781,872
2. 固定負債 (本部)		
	3,277,505	3,277,505
負債合計 :	5,899,825	6,059,377
3. 正味財産		
負債および正味財産合計 :	10,031,915	9,629,155
Profit and Loss		
I. 収益の部		
2. 10) 会議等参加費	93,000	12,000
3. 10) 本部からのRebate受取	4,417,976	3,823,640
3. 20) 本部からのFund受取	252,389	260,336
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	1,524,633	2,899,029
3. 32) その他本部からの受取	216,000	172,800
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	15,246,321	15,244,324
3. 40/3. 45) 受取利息	9,148	8,558
3. 70) その他受取	-	323,426
収益合計 :	21,759,467	22,744,113
II. 費用の部		
4. 10) 会合費	740,311	1,363,642
4. 80) Student Branch支援費	530,721	812,638
4. 90) その他活動費	791,338	897,174
5. 10) 事務所賃借料	557,065	560,393
5. 20) 交通費	-	121,298
5. 30) 給料諸給	1,564,932	1,838,240
5. 50) 支部およびChapter支援	16,335,242	15,839,049
5. 60) 事務局費および一般管理費	677,546	1,235,620
7. 00) Reserve Allocation Expense (本部)	-	305,388
JC(旧東京支部)預かり金移動	-	13,993,310
費用合計 :	21,197,155	36,966,752
正味財産増減額	562,312	-14,222,639
期首正味財産	3,569,778	17,792,417
期末正味財産	4,132,090	3,569,778

(総会 第2号議案)

科 目	2017年12月31日	2016年12月31日
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
2. 10) 会議等参加費	93,000	12,000
3. 10) 本部からのRebate受取	4,417,976	3,823,640
3. 20) 本部からのFund受取	217,532	260,336
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	1,524,633	2,899,029
3. 32) その他本部からの受取	216,000	172,800
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	15,246,321	15,244,324
3. 40/3. 45) 受取利息	9,148	8,558
3. 70) その他受取 (Milestone銘板代立替分)	-	323,426
収入合計 :	21,724,610	22,744,113
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	775,850	1,328,103
4. 80) Student Branch支援費	505,144	762,076
4. 90) その他活動費	734,937	897,174
5. 10) 事務所賃借料	560,393	-
5. 20) 交通費	-	121,298
5. 30) 給料諸給	1,838,240	-
5. 50) 支部およびChapter支援	16,335,242	15,839,049
5. 60) 事務局費および一般管理費	606,901	938,482
JC(旧東京支部)預かり金移動	-	13,993,310
支出合計 :	21,356,707	33,879,492
現金・預金増減額	367,903	-11,135,379
期首現金・預金残高	9,483,555	20,618,934
期末現金・預金残高	9,851,458	9,483,555

※1) 2017年度 未収 YP Fund (本部)

※2) 2017年度 未払 SB支援費・YP活動費、および事務局費 (Japan Council立替分)

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2017.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

Except as discussed in the following paragraph, we conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

We were unable to obtain sufficient appropriate evidence supporting Reserve Allocation Payable stated at JPY3,277,505 at December 31, 2017; nor were we able to satisfy ourselves as to the carrying amount of the bank account and the payable by other auditing procedures.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2017 or the result of its operation or cash flow for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion, except for the effects of such adjustments, if any, as might have been determined to be necessary had we been able to examine evidence regarding the bank account and the payable, the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2017 has been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

Mori & Co.

Mori & Co.

February 16, 2018

IEEE 東京支部 2018 年 活動計画

1. 総会及び理事会

- 2018 年 IEEE 東京支部総会
3 月 29 日(木)14 時 30 分～15 時 00 分 開催予定
- 理事会
以下日程にて開催予定
第 1 回理事会: 2018 年 3 月 29 日(木) 12:00～13:55 機械振興会館
第 2 回理事会: 2018 年 6 月 15 日(金) 15:00～17:00 UDX 秋葉原
第 3 回理事会: 2018 年 9 月 28 日(金) 15:00～17:00 UDX 秋葉原
第 4 回理事会: 2017 年 12 月 18 日(火) 15:00～17:00 機械振興会館

2. 財政運営

5年前の円高に対応し、2013-14 年執行部により効果的な財政的な運用が行われた。その後の円安もあり、2016 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。また 2016 年より Japan Council および東京支部事務局費の負担を明確に切り分けたことにより、Japan Council には他支部同様に必要な支援を求める。2018 年では、会員獲得、会員継続に繋がる活性化施策を増やすなど、より積極的な運営をこころがける。

3. 講演会・学生支援活動

- 東京支部講演会の開催
Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG(Life Members Affinity Group)、YP(Y(Young Professionals))ほか各グループとの共催を積極的に推進する。
- Students Branch の支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学の13校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学があり(全国合計31校)、それぞれ学生を中心としてIEEE活動が展開されている。

学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。

4. 若手会員及びLife会員向け活動の活性化

2010年10月に設立されたTokyo Life Members Affinity Groupを中心にLife会員自身の活動の活性化を支援する。また2008年11月に設立されたTokyo Young Professionalsを中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらにLMAG、YPに加え、Student Branch・Japan Council Women in Engineeringとの世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

- Young Professionals

2018年11月で設立10周年を迎えることから記念式典を計画する。

- Life Members

3月29日

LMAG総会 開催予定

5. 認定及び表彰支援

- Milestone 認定支援

2014年、日本で初めてのSection傘下のHistory Committeeを常設委員会として発足した。今後も、Milestone認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

- IEEE Fellowの推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEBを活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関

への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大

(Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- ホームページと Tokyo Bulletin

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語) を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

- 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化に努め、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (Fellow + Senior Member) の比率が、IEEE の全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、2016 では関西支部主催で MAW2016、2017 年には名古屋にて MAW2017 が開催され、東京支部からも参加した。引き続き 2018 年には福岡支部にて MAW2018 開催を予定しているため参加者を出し成功に向け支援を行う。

8. 東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

2014 年より着手していた施策である従来 Japan Council に所属していた各 Chapter を適切な支部に所属させる移行手続きは、本部への申請が 2016 年度に全て完了、数件の本部承認を待つのみとなった。Chapter の移行支援を行っていた東京支部 Chapter Promotion

Committee は 2016 年より Chapter Operation Committee と改めた。東京支部所管の Chapter に関する MOU 締結審議等の運営支援を継続して行う。

9. 関連組織との連携、協力

- **Japan Council 運営の支援**

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

- **IEEE 本部、R10 との連携**

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

- **ボストン支部およびソウル支部との交流**

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

- **国内学会との協力関係の推進**

IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU 更新作業を継続する。

以上

IEEE 東京支部 2018年計画 (活動ベース)

2018.03.14

単位 : JPY

想定レート : US\$1 = ¥ 107 - (2018/2/28現在 TTBレート ¥ 106 - 5)

【収入の部】	2018年予算	2017年決算	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	93,000	講演会等の懇親会徴収分
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate YP Rebate LMAG Rebate SB Rebate Chapter Rebate	3,211,776 23,540 31,565 0 1,055,555	3,224,383 23,632 31,689 46,351 1,091,921	\$30,016,60- (予測) \$220- (予測) \$295- (予測) \$ 9.865- (予測)
320 Region Receipts LMAG FUND YP FUND その他 Fund等	107,000 53,500 0	112,530 139,859 0	\$1,000- (予測) \$500 (予測)
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	1,910,121	1,524,633	SA総額の13%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	172,800	216,000	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,693,240	15,246,321	\$137,320-(2017年実績)
340 雑収入 (CB口座)	7,000	9,071	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	77	
収入合計	21,269,097	21,759,467	
【支出の部】			
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費 その他会合費 総会運営費用 講演会開催費用	250,000 50,000 650,000 300,000	19,259 60,855 507,993 152,204	第4回理事会懇親会費分増額 マイルストン関連費用等
480 Student Activities SB支援費 SB Rebate支払	700,000 0	484,370 46,351	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助) YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	150,000 363,500	231,421 247,302	Fund等込み (支部支出 ¥ 50,000-) Fund等込み (支部支出 ¥ 310,000-)
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金 Chapter Rebate 支払い	14,693,240 1,055,555	15,243,321 1,091,921	
事務局費1 計	2,324,000	2,353,559	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	136,000	136,221	JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	342,800	309,763	
予備費	700,000	312,615	R10 SYWLC/R10Meet 等 参加支援
支出合計	21,715,095	21,197,155	
収入－支出	-445,998	562,312	
前年度からの繰越金	7,263,995	6,701,683	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	6,817,997	7,263,995	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

2018年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	浅井 光太郎 Kohtaro Asai	三菱電機	<i>for contributions to video coding development and standardization</i>
2	東京	浅間 一 Hajime Asama	東京大学	<i>for contributions to distributed autonomous robotic systems</i>
3	東京	藤原 聡 Akira Fujiwara	NTT	<i>for contributions to silicon single-electron devices</i>
4	東京	平野 嘉仁 Yoshihito Hirano	三菱電機	<i>for leadership in the development of 1.5-micron wind sensing lidar</i>
5	東京	川上 紀子 Noriko Kawakami	東芝三菱電機産業システム	<i>for contributions to large-capacity power converters and applications</i>
6	東京	本山 英器 Hideki Motoyama	電力中央研究所	<i>for contributions to lightning protection and insulation coordination of electric power systems</i>

2018年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	関西	馬 書根 Shugen Ma	立命館大学	<i>for contributions to the design and control of environment-adaptive robots</i>
2	関西	小野寺 秀俊 Hidetoshi Onodera	京都大学	<i>for contributions to variation-aware design and analysis of integrated circuits</i>
3	関西	澤田 宏 Hiroshi Sawada	NTT	<i>for contributions to blind source separation of speech and audio signals</i>
4	仙台	大野 英男 Hideo Ohno	東北大学	<i>for contributions to materials and device design for spintronics</i>
5	仙台	寒川 誠二 Seiji Samukawa	東北大学	<i>for contributions to damage-free plasma processing for nano-device manufacturing</i>
6	仙台	田中 秀治 Shuji Tanaka	東北大学	<i>for contributions to micro-electromechanical systems for acoustic wave devices, physical sensors, and power generation</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.

Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Operations
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29th March 2016.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org